

記入日 年 月 日

※ 当年7月1日以降の日付

群馬県知事あて

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金受給申請書（家計急変世帯）

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金事業実施要綱第3条に規定する給付対象世帯に該当するため、同要綱第8条の規定により、必要な書類を添えて、以下のとおり申請します。

〇誓約

申請にあたり、以下の内容を確認の上、□にチェック（レ印）を記入してください。

- ・この申請書の記載内容は、事実と相違ありません。
- ・当申請書の内容について事実と異なる記載があった場合は、県の求めに従い給付金を返還します。
- ・記載した対象生徒に対する奨学のための給付金の今年度の申請は本申請のみであり、他の都道府県への申請を行っておらず、また、行わないことを誓約します。（ただし、災害等に起因する給付額 加算申請のみ行う場合を除く。）
- ・対象となる高校生は児童福祉法による児童入所施設措置費（見学旅行費又は特別育成費（母子生活支援施設の高校生等を除く））の支弁対象ではありません。
- ・当申請書の内容について、県が必要に応じ給付金の受給の有無などについて関係する都道府県等に照会し、情報提供を受けることに同意します。
- ・県の求めに従い、本年度の最新の家計状況の把握に協力するとともに、申請後、年収見込額の増加が見込まれるとき（就職等）、速やかに申し出ます。
- ・生活保護（生業扶助）を受給していないことを誓約します。
- ・私と対象となる高校生等は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

□ 上記のすべての事項について誓約します。

〇申請者について（注：原則、高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。）

申請者住所等	〒群馬県 電話 ()	ふりがな	
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・本人・その他 ()	申請者氏名	

〇対象となる高校生等について（注：対象となる高校生等が複数人いる場合には、それぞれの対象者ごとに申請してください。）

ふりがな				生年月日	昭和 年 月 日 平成
生徒氏名					
在学する私立学校	学校名・学年	樹徳高等学校 (年)			
	学校種類、課程等(該当にチェック・レ印)	通信制以外	☒ 高等学校(全日制・定時制) ☐ 専修学校高等課程(昼間学科・夜間等学科)		
		通信制	☐ 中等教育学校(後期課程) ☐ 専修学校一般課程(昼間学科・夜間等学科)		
			☐ 高等専門学校(1～3学年) ☐ 各種学校(外国人学校・その他)		
			☐ 高等学校(通信制) ☐ 専修学校高等課程(通信制学科)		
学校所在地	群馬 都道府県 桐生 市 区 町村 錦町一丁目1番20号				
在学期間	年 月 日 ～ 現在				
過去の高等学校等における在学期間	学校名 立	～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数 なし (回) 不明	
	学校名 立	～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数 なし (回) 不明	

〇学校証明欄（注：以下の項目をすべて証明するものであれば、学校独自の証明書の添付でもかまいません。）

- 次の各項目について相違ないことを証明します。
- ① 本校が、高等学校等就学支援金の支給に関する法律第2条に定める学校であること
 - ② 上記生徒が記載の課程に在学しており、当年7月1日現在（7月2日以降の家計急変の場合、基準日現在）休学中でないこと
 - ③ 上記生徒が当年7月1日現在7月2日以降の家計急変の場合、基準日現在）高等学校等就学支援金または学び直しのための支援金の受給権を有していること

年 月 日 学校所在地 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
学校名 樹徳高等学校
校長名 野口 秀樹
連絡先電話番号 0277-45-2258

印

○保護者等の家計急変の状況について（家計の状況に関する確認書類等）

課税証明書を添付する者の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

氏名（保護者等A）	続柄	氏名（保護者等B）	続柄
-----------	----	-----------	----

家計急変事由が発生した保護者等の家計急変発生日及び事由を記入してください。

・家計急変事由発生日 年 月 日	・家計急変事由発生日 年 月 日
・事由：	・事由：

① 所得課税証明書 ※扶養親族等の記載の省略がされていないもの

☐	親権者（両親） 2名分 生徒が未成年（18歳未満であり、親権者（両親）が2人存在する場合）
☐	親権者 1名分 （親権者が、一時的に親権を行う児童相談所長等の場合を除く） ・離婚、死別等により親権者が1名の場合、 ・親権者が存在するものの、家庭の事情によりやむを得ず、親権者の1人の課税証明書等を提出できない場合等
☐	未成年後見人（ ）名分 親権者が存在せず、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分） ※未成年後見人が法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合、その者を除く
☐	生徒の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）（両親等） 2名分 生徒が在学中に成人した場合で、成人する直前の未成年の時点から申請の時点まで生計を維持する者に変更がない場合
☐	主たる生計維持者 1名分 ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等
☐	生徒本人 親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合であり、成人に達している場合等

② 保護者等の家計急変の発生事由や時期を証明する書類

☐	※失職・離職、退職、倒産・廃業、生業不振・経営悪化、転職・就業条件の変化、疾病・長期療養などを証明できるもの 例）離職票、雇用保険受給資格者証、解雇通告書、退職及び退職金支給証明書、退職所得に対する住民税の特別徴収に係る証明書類、破産宣告通知書、廃業等届出、診断書、入院診療計画書等
--------------------------	--

③ 保護者等全員の家計急変後の収入を証明する書類

☐	※事由発生日から向こう12ヶ月間の収入見込みを証明できるもの 例）会社作成の給与等支払（見込）証明書、事由発生日から申請までの間の給与明細（最低3ヶ月分）、税理士又は公認会計士作成の証明書類、自営業の場合は毎月の収支を整理した帳簿書類等、収入がない場合は申立書
--------------------------	---

○振込口座について（原則申請者口座。申請者以外の口座を指定する場合、委任状が必要）

振込口座情報（本支店名・口座番号・口座名義人（カナ））
が確認できるもののコピーを貼付

例：通帳表紙の裏ページ見開き部分、キャッシュカード、オンラインバンキングの画面等

金融機関名	銀行・農協・労働金庫 信用金庫・信用組合	口座名義	フリガナ
本支店名	本・支店（出張所）		
預金種別	普通・当座・貯蓄		
口座番号(7桁)			

※ 学校設置者による代理受領を希望する場合に限り、以下にチェックし、委任状を提出してください。

☐	学校設置者による代理受領を希望します（委任状を提出します。）。※振込口座の記載は不要
--------------------------	--

（※群馬県内の学校の場合のみ記入） 学校受付日 年 月 日

群馬県知事あて

委任状

〒

住所

委任者 氏名 印

(申請者) 電話番号

生年月日

学校名

学年

生徒氏名

私が支給を受ける、群馬県私立高等学校等奨学のための給付金の受領に関する
権限については、下記の者に委任します。
振込口座は、申請書記載のとおり指定します。

記

受任者

住所	〒
氏名	
対象生徒との続柄	
同居・別居の別	同居 ・ 別居 (どちらかに○)
電話番号	

(参考様式：家計急変による非課税相当世帯用)

給与等支払見込証明書

給与等の支払いを受ける者	住 所	
	氏 名	
給与・手当等月額	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	月分	円
	合 計	円
賞与等	月分	円
(無い場合は” 無 ” と記入)	月分	円
上記のとおり相違ないことを証明する。		
年 月 日		
所在地		
会社名		
代表者名		印
電話番号		

※この様式の内容に準じていれば、会社独自の様式で可。
※会社名等はゴム印での記載可。

(参考様式2：家計急変による非課税相当世帯用)

申立書

学校名等	学校名		学年	
生徒氏名				
申立内容				
申立理由				
備 考				

年 月 日

申立人氏名（自署）

生徒との関係 （ ）

記入例 1

- 申立内容の例
生徒の父が無職無収入であることについて
- 申立理由の例
生徒の父（群馬一郎）は、令和〇年〇月〇日に〇〇〇〇のため離職したことに伴い、現在も無職無収入です。

記入例 2

- 申立内容の例
生徒の母が無職無収入であることについて
- 申立理由の例
生徒の母（群馬花子）は、平成28年5月から無職無収入であり、現在も無職無収入です。

群馬県知事あて

年 月 日

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金
災害等に起因する給付額加算申請書 兼 学校証明書

申請には、本申請書のほかに群馬県私立高等学校等奨学のための給付金受給申請書（以下「受給申請書」という。）等の提出が必要です。

下記の高校生等について、着用を義務付けられている制服が、年 月 日に発生した
(災害名) により喪失（毀損）したことを誓約し、追加給付を申請します。

提出済みの受給申請書及び添付書類等の記載内容に変更がない場合、□にチェック（レ印）を記入してください。

□ 既に提出済みの受給申請書等と記載内容に変更がないため、受給申請書等の提出を省略します。

7月1日を認定基準日とした通常申請を他の都道府県へ行っている場合、□にチェック（レ印）を記入してください。

- 加算分のみ群馬県に申請し、受給申請書等を提出します。
- ・この場合、受給申請書に記載の給付額は群馬県から給付されません。
 - ・受給申請書に記載の基準日「7月1日」については、「申請のあった月の翌月（災害等が発生した日が申請のあった月の1日の場合は、申請のあった月）の1日」と読み替えます。

※ 以下申請者及び対象となる高校生等について、受給申請書記載事項と同じ内容を記載してください。

○申請者について

申請者住所等	〒 群馬県	ふりがな	
	電話 ()	申請者氏名	
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・本人・その他 ()		

○対象となる高校生等について

ふりがな		生年月日	昭和 年 月 日
生徒氏名		平成	
在学する私立学校	学校名・学年	(年)	
	学校種類、課程等(該当にチェック・レ印)	☐ 高等学校(全日制・定時制) ☐ 専修学校高等課程(昼間学科・夜間等学科) ☐ 中等教育学校(後期課程) ☐ 専修学校一般課程(昼間学科・夜間等学科) ☐ 高等専門学校(1～3学年) ☐ 各種学校(外国人学校・その他)	
	学校所在地	都道府県	市区町村

○学校証明欄

制服の再購入に係る証明書

当校では生徒に制服の着用を義務付けており、今後の学校生活に支障が生じることから、上記の生徒については、再度、制服の購入が必要であることを証明します。

群馬県外の学校の場合は以下を確認し、チェックを入れること。

□本校の所在する都道府県では、制服購入に係る別の公費支援はありません。

年 月 日 学校所在地
学校名
校長名
連絡先電話番号

印

記載例

日付を記入してください。

記入日 令和7年7月20日

※ 当年7月1日以降の日付

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金受給申請書

(家計急変世帯)

家計急変世帯用の申請書です。

※ 生活保護世帯、非課税世帯として申請する場合は、申請書が異なります。

〇言ひ

申請にあたり、以下の内容を確認の上、□にチェック（レ印）を記入してください。

- ・この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
- ・当申請書の内容について事実と異なる記載があった場合は、県の求めに従い、訂正を提出してください。
- ・記載した対象生徒に対する奨学のための給付金の今年度の申請は本申請の旨、また、行わないことを誓約します。（ただし、災害等に起因する給付額減額を除く）
- ・対象となる高校生は児童福祉法による児童入所施設措置費（自学旅行費等）の支給対象ではありません。
- ・当申請書の内容について、県が必ず確認してチェック（レ印）してください。
- ・生活保護（生業扶助）を受給していないことを誓約します。
- ・私と対象となる高校生等は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係とは、右図のような関係を指します。

健康保険被保険者証	家族（被扶養者）
氏名 群馬 花子	氏名 群馬 太郎
生年月日 平成20年10月10日	生年月日 令和7年7月20日
性別 女	性別 男
健康保険等における扶養者と被扶養者の関係	

確認してチェック（レ印）してください。

（就職等）、速やかに申し出ます。

・生活保護（生業扶助）を受給していないことを誓約します。

・私と対象となる高校生等は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

☑ 上記のすべての事項について誓約します。

〇申請者について

（注：原則、高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。）

申請者住所等	〒371-8570 群馬県 前橋市大手町 〇-△-〇 〇〇アパート 〇号室 電話 080 (0000) 〇〇〇〇	ふりがな	ぐんま たろう
申請者氏名	群馬 太郎	高校生等との関係	親権者・未婚

電話番号は、連絡をとりやすいものにしてください。

高校生等の健康保険法等における扶養者を記入してください。

〇対象となる高校生等について

（不足書類等があった際の連絡に使用します。）

ふりがな	ぐんま はなこ	生徒氏名	群馬 花子	生年月日	昭和 20 年 10 月 10 日 平成
学校名・学年	〇〇高等学校 (2) 年				
学校種類、課程等（該当にチェック・レ印）	☒ 高等学校（全日制・定時制） ☐ 中等教育学校（後期課程） ☐ 高等専門学校（1～3 学年） ☐ 高等学校（通信制） ☐ 専修学校一般課程（通信制学科） ☐ 専修学校高等課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 専修学校一般課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 各種学校（外国人学校・その他） ☐ 専修学校高等課程（通信制学科）				
学校所在地	群馬 都道府県 前橋 市区町村 大手町〇-〇-〇				
在学期間	令和6 年 4 月 1 日 ～ 現在				

過去の高等学校等における在学期間	学校名	立	～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数
	立	～ 年 月 日	学校の種類・課程・学科	在学中に給付金を受給した回数	

〇学校証明欄

（注：以下の項目をすべて証明するものであれば、学校独自の証明書の添付でもかまいません。）

次の各項目について相違ないことを証明します。

- ① 本校が、高等学校等就学支援金受給資格者であること
- ② 上記生徒が記載の課程に在学中であること
- ③ 上記生徒が当年7月1日現在7月2日以降の家計急変の場合、基準日現在）高等学校等就学支援金または学び直しのための支援金の受給権を有していること

現在の学校の入学以前に、高等学校等に在学していた場合、記入してください。

学校に持参して、学校の証明を受けてください。

印

学校名
校長名
連絡先電話番号

○保護者等の家計急変の状況について（家計の状況に関する確認書類等）

課税証明書を添付する者の氏名及び生徒との続柄を記入してください。

氏名（保護者等A）	続柄	氏名（保護者等B）	続柄
群馬 太郎	父	群馬 桜子	母

家計急変事由が発生した保護者等の家計急変発生日及び事由を記入してください。

・家計急変事由発生日	令和7年4月1日	・家計急変事由発生日	年 月 日
・事由：	病気休職による収入減	・事由：	

① 所得課税証明書 ※扶養親族等の記載の省略がされていないもの

☒ 親権者（両親） 2名分
 生徒が未成年の場合、親権者が存在する場合、
☐ 親権者1名分
 所得課税証明書は、必ず扶養親族等が記載されているものを提出してください。
☐ 離婚、死別
☐ 親権者が存在しない場合、未成年後見人が存在する場合、未成年後見人が選任されている場合（未成年後見人が存在しない場合、成人に達している場合等）
☐ 未成年後見人
 該当する項目にチェック（し印）してください。
 ※ 記載例は、親権者が2名いる場合です。

☐ 主たる生計維持者 1名分
 ②・③は、家計急変世帯としての申請に当たり、所得課税証明書のほか必要な書類です。確認の上、すべての項目にチェック（し印）してください。

② 保護者等の家計急変の発生事由や時期を証明する書類

☒ ※失業・離職、退職、倒産・廃業、生業不振、経営悪化、転職・就業条件の変化、疾病・長期療養などを証明できるもの
 例）離職票、雇用保険受給資格者証、解雇通告書、退職及び退職金支給証明書、退職所得に対する住民税の特別徴収に係る証明書類、破産宣告通知書、廃業等届出、診断書、入院診療計画書等

③ 保護者等全員の家計急変後の収入を証明する書類

☒ ※事由発生月から向こう12ヶ月間の収入見込みを証明できるもの
 例）会社作成の給与等支払（見込）証明書、事由発生から申請までの間の給与明細（最低3ヶ月分）、税理士又は公認会計士作成の証明書類、自営業の場合は毎月の収支を整理した帳簿書類等、収入がない場合は申立書

家計急変後の収入を証明する書類は、家計急変事由が発生していない保護者等の分も必要です。
 ※ 記載例の場合、収入減があったのは、父のみですが、家計急変後の収入を証明する書類は、父母両方提出してください。

○振込口座について（原則申請者口座。申請者以外の口座を指定する場合、委任状が必要）

銀行の通帳写しを提出する場合

ゆうちょ銀行の通帳写しを提出する場合
 株式会社 ゆうちょ銀行
 通常貯金ご利用の上限額 10,000,000円
 カード紛失センター 0120-791889
 ゆうちょ銀行の場合は、必ず上の氏名欄と下の振込の受取口座用の店番・口座番号が載っているところをコピーして添付

キャッシュカードの写しを提出する場合

キャッシュカードの裏面に氏名の記載がない場合は表面も提出。
 クレジットカードを兼ねる場合はセキュリティコードは隠す。

金融機関名	銀行 農協・労働金庫 信用金庫・信用組合	フリガナ	グンマ タロウ
本支店名	本 支店（出張所）	口座名義	群馬 太郎
預金種別	普通 当座・貯蓄		
口座番号(7桁)	0 1 2 3 4 5 6		

※ 学校設置者による代理

☐ 学校設置者による

原則、表面の申請者と一致します。
 振込口座について、申請者以外の口座を振込先とする場合は、委任状を作成し、委任状の「受任者」名義の口座を記入してください。

（*群

令和7年7月〇日

記載例

委任状

- 申請者（親権者）以外の口座を振込先とする場合に、提出してください。
- 申請書の「振込口座について」には、受任者名義の口座を記入してください。
- 受任者名義の口座通帳等のコピーを添付してください。

〒 374-△△△△

住所 館林市〇〇町 〇-△-□

氏名 赤城 一郎 印

電話番号 0276 (△△) □□□□

生年月日 昭和48年〇月〇日 要押印

学校名 ◇◇高等学校

学年 3年

生徒氏名 赤城 花子

私が支給を受ける、群馬県私立高等学校等奨学のための給付金の受領に関する権限については、下記の者に委任します。

振込口座は、申請書記載のとおり指定します。

記

受任者

住所	〒 371-0000 前橋市××町 ◇-〇-△
氏名	群馬 松子
対象生徒との続柄	祖母
同居・別居の別	同居 別居 (どちらかに○)
電話番号	027 (◇◇◇) △△△△

記載例

令和7年7月0日

群馬県私立高等学校等奨学のための給付金 災害等に起因する給付額加算申請書 兼 学校証明書

申請には、本申請書と、令和6年1月1日以降、着用を義務付けられている制服が災害等により喪失・毀損し、再度、制服の購入が必要である場合に記入する申請書です。

下記の高校生等について、着用を義務付けられている制服が、令和7年7月1日に発生した〇〇地震（災害名）により喪失（毀損）したことを誓約し、追加給付を申請します。

本加算申請書提出前に通常の受給申請書を提出済みの場合で、記載内容に変更がない場合のみ、通常の受給申請書等の提出を省略できます。

提出済みの受給申請書及び添付書類等の記載内容に変更がない場合、□にチェック（レ印）を記入してください。

□既に提出済みの受給申請書等と記載内容に変更がないため、受給申請書等の提出を省略します。

該当する項目がある場合はチェック（レ印）してください。

7月1日を認定基準日とした通常申請を他の都道府県へ行っている場合、□にチェック（レ印）を記入してください。

□加算分のみ群馬県に申請し、受給申請書等を提出します。

- ・この場合、受給申請書に記載の給付額は群馬県から給付されません。
- ・受給申請書に記載の基準日「7月1日」については、「申請のあった月の翌月（災害等が発生した日が申請のあった月の1日の場合は、申請のあった月）の1日」と読み替えます。

※ 以下申請者及び対象となる高校生等について、受給申請書記載事項と同じ内容を記載してください。

○申請者について

申請者住所等	〒371-8570 群馬県 前橋市大手町 〇-△-□ 〇〇アパート 〇号室 電話 080 (0000) □□□□	ふりがな ぐんま たろう	申請者氏名 群馬 太郎
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者・本人・その他（ ）		

○対象となる高校生等について

ふりがな	ぐんま はなこ		昭和	20	年	10	月	10	日
生徒氏名	群馬 花子		平成						
在学する私立学校	学校名・学年	〇〇高等学校（2）年							
	学校種類、課程等（該当にチェック・レ印）	☒ 高等学校（全日制・定時制） ☐ 中等教育学校（後期課程） ☐ 高等学校（1～3学年） ☐ 専修学校高等課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 専修学校一般課程（昼間学科・夜間等学科） ☐ 各種学校（外国人学校・その他）							
	学校所在地	群馬 都道府県 前橋 市区町村 大手町〇-〇-〇							

○学校証明欄

制服の再購入に係る証明書

当校では生徒に制服の着用を義務付けており、今後の学校生活に支障が生じることから、上記の生徒については、再度、制服の購入が必要であることを証明します。

群馬県外の学校の場合は以下を確認し、チェックを入れること。

□本校の所在する都道府県では、制服購入に係る別の公費支援はありません。

年 月 日 学校所在地

学校名

校長名

連絡先電話番号

学校に持参して、学校の証明を受けてください。

印